

(別紙4(2)) 目標達成計画

事業所名 グループホーム三和苑

作成日 平成 27年 1月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	自由にご意見をいただけるよう意見箱を設置しているが、それが活かされておらず、ご家族の本音を知る事が出来ていない。どのようにして自由な意見を出していただけるようにするか。	良いことも気になることも、どのような気付きも言いやすい事業所になる。	毎月、ご家族宛てのお便りに、ひと言コメントを記入出来る欄を作り、匿名で投函出来るよう、現在1つの意見箱を複数設置する。ご意見に対する返事及び取り組みは、苑たよりに掲載する。	3ヶ月
2	9	認知症状の重い方と自立度の高い方との生活リズムに差があり、どうしても自立度の高い方中心になっている。いかにして、重度の方の出来る事を引き出し、楽しみや張り合いにつなげるか。	一人ひとりが笑顔で暮らせるような生活の実現を目指す。	出来る事＝自立ではなく、自己表現と捉え、利用者の出来る力を探し、その力が発揮出来るような生活支援をプランに組み込み実践する。	3ヶ月
3	13	巨大地震や水害発生時の対策として、備蓄品以外の対策が万全でなく、避難経路の確立も出来ていない。	巨大災害時の対策マニュアルを作り、実際にシュミレーションしてみる。	具体的で分かりやすいマニュアル(震度5以上の場合は事業所へ集合するなど)を作る。避難経路、方法を決め実際に動いてみて課題を一つひとつ解決する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。